

一般質問

市の明日を考える!

12月定例会の一般質問は、12月13日から16日の4日間にわたり16人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を掲載します。

[発言順]

深谷 勇吉

[真誠会]



- 社会保険二本松病院存続について
- 市道若宮・鉄扇町線について

問

- ①厚生労働省のアンケートに対しどのような回答をされたのか。
- ②存続させるということに対し、市はどのような回答をされたのか。
- ③公的存続法案の再提出と成立を目指す為に、今後、二本松市としてどのような働きかけをされるのか。

- ②①鉄扇橋を含む歩道整備について
- ②塩沢二丁目歩道脇の水路と歩道間の安全対策について

答

- ①①介護サービス、出産できる産婦人科、透析センター等の継続が期待される旨、回答した。
- ②国が責任をもって公的病院として存続させるべきと回答した。
- ③国、県及び国会議員等に対して公的病院の存続を更に強く要望をしていく。

- ②①今後、歩行者数の調査を行い、必要性も含めて架橋を検討する。
- ②安全安心を第一に掲げており、早期に現地調査を行い対処する。

熊田 義春

[市政会]



- 市が配布する無料券について
- 農業振興策について

問

- ① 菊人形無料招待券と温泉利用券の利用状況について



(二本松の菊人形)

- ②①専業農家と兼業農家の割合について
- ②市独自の農業支援について
- ③市長が考える今後の農業支援取り組み策について

答

- ① 菊人形招待事業の利用者数と利用率は21年度、4,482人36.1%、温泉保養健康増進事業は64.9%。

- ②①17年現在総農家数3,905戸で、専業農家353戸9%、兼業農家3,522戸91%となっている。
- ②県とJAグループで無利子農家経営安定資金の貸し付けを行う。
- ③本市の基幹産業であり、活性化に向け農家所得の向上、耕作放棄地の対策を目標に、JAや農業関係者と事業化に向け進めていく。

安 齋 政 保

[公 明 党]



- 安達地域コミュニティバスについて

問

- ① ①現在までに利用状況について
②運行経費について
③今後の対応について
④福祉タクシー「ようたすカー」について

②



(ようたすカー)

答

- ① ①4月から11月までの8ヶ月間の合計で、小学生の通学利用を除いて2,475名であり、日中巡回便のみの利用者は1,177名です。
②運行見直し分を含めて770万円程度となる見込みです。
③運行ルートと運行時刻の見直しを行い、来年1月から実施の予定です。
④交通弱者といわれている高齢者の皆さんにとっては、なくてはならない交通手段です。

平 敏 子

[真 誠 会]



- 子宮頸がん等ワクチン摂取について
- 茶園地域の下水道整備について

問

- ① 国の平成22年度補正予算で子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種事業に補助が決まりました。「国の制度として実施すべき」との議会答弁でしたので今回の予算化を受け、本市での具体化について伺います。
- ② 茶園1丁目地内は家屋が密集している地域にもかかわらず下水道は未普及です。市として緊急に整備計画を図るべきと考えますが、今後の計画策定のスケジュールと基本的な考え方について伺います。

答

- ① 女性と子ども、市民の健康と命を守ることを優先し、個人負担のない全額公費で実施することを決断。子宮頸がんワクチンは平成23年4月時点で中学校1年生から中学3年生、高校1年生を対象に実施。ヒブ、小児肺炎球菌ワクチンは乳幼児対象に実施する。
- ② 茶園地区は下水道の全体計画に含まれており、管渠布設が可能な工法や、効率的な施設管理等の技法を研究し、次期事業認可変更時(平成25年度～29年度)に検討。

佐 藤 有

[真 誠 会]



- 健康保養施設のスカイピアあだたらについて
- 都市公園安達ヶ原公園ふるさと村について

問

- ① スカイピアあだたらの利用状況と改修(リニューアル)について

安達ヶ原公園ふるさと村の整備について

②



(整備予定の安達ヶ原公園)

答

- ① 今年の4月から11月まで5万8843人の利用で昨年同期より30%増。売り上げ2868万1千円と約50%増であり、今後も利用者増が見込まれる。「サウナ風呂」の設置と休憩室等の早期改修等計画し、利用者の要望に応えたい。
- ② 桜・松・紅葉等の樹木の景観整理や境界樹木ネットフェンスの除去、ふるさと村と連動する園路の整備を行う。子ども館の利用者も多く、子どもが安全に遊べる芝生広場、イベント開催に配慮し、親水施設やせせらぎの安全対策も行う。

平 栗 征 雄

[市政刷新会議「創松未来」]



- 1人暮らしの高齢者対策について
- コミュニティバス運行について

問

- ① 1人暮らしの高齢者の生活状況をどう把握されているか。
- ② 4月のバス運行以来、利用者からの意見等は聞いたか。



(コミュニティバス)

答

- ① 現在1人暮らしの高齢者は855人おり、要支援や介護認定者に対して、ケアマネージャーは定期的な訪問等により、健康状況等を常に把握している。又、配食サービス事業においても、配達員が安否確認を行っている。
- ② 市本庁及び各支所等に、乗り継ぎ、運行ルート、バス停の表示、運行時刻に関するご意見、ご要望が寄せられており、今月中にも利用者を対象にアンケート調査を予定している。

菅 野 寿 雄

[市 政 会]



- 有害獣対策の推進状況について
- 条例改正による人件費削減分の施策反映について

問

- ① ①有害獣捕獲隊の設置根拠についての検討状況は
②農林業に係る被害状況調査結果を示してほしい。
③イノシシによる農地流亡等の被害に対する復旧支援策は。
- ② 11月29日臨時議会における一連の条例改正により削減された人件費の用途について、当局の具体的な考えを示して欲しい。

答

- ① ①「有害鳥獣捕獲隊設置要綱」を制定し、平成23年4月1日を施行期日として準備を進めている。
②平成19年度4.9ha、43万6千円、平成20年度6ha、101万6千円、平成21年度19.5ha、267万2千円となっている。
③市の補助金交付要綱により、復旧事業費の3割の補助を行うことが考えられる。
- ② 総額6千7百万円の財源を得た。手当等の削減による貴重な財源であり、市政進展に活用していく。

鈴 木 利 英

[市政刷新会議「創松未来」]



- 農業振興策について
- 堆肥サポートセンター設置について

問

- ① ①米下落に伴う市の独自策について
②環太平洋経済協定、TPPへの市の対応について
③認定農業者への機械購入助成金見直す考えは。
④空き店舗を活用した農産物直売所の出店について
⑤米粉を利用したパン菓子生産の拡大策は。
- ② 建設に向けての調整経過と建設時期について

答

- ① ①米は国の施策であることから、独自施策は行わない。
②国に慎重な対応を求めるものとし、反対の立場で地域の皆様と一体となり発信していく。
③事業費の2割以内の助成として継続していく。
④前向きに協議に応ずる。
⑤県事業の活用を図り推進方策を検討していく。
- ② 建設時期は、地元や農協、国・県の了解や同意に基づき、調整が整ってから、予定地で進める。

小林 均

[公明党]



- いじめ自殺根絶への取り組みについて
- 子宮頸がん等予防ワクチン接種について

問

- ① ①小中学校でのいじめの実態は。
②子どもたちの発するSOSにどの様に反応し、“いじめ”とどの様に向き合っているのか。
③小中学校における“学級崩壊”の実態とその対策について
- ② ①子宮頸がん等ワクチン接種の全額公費負担の実施を決断した市長の考えと、取り組みについて
②がん検診の受診率アップへ向けた取り組みについて
③子宮頸がん予防ワクチン接種や検診に対する啓発について

答

- ① ①11月10日現在の全校調査の結果、“いじめ”の事案はなかった。
②担任が児童・生徒の交友関係などに気を留め、個別面談を行う。
③“学級崩壊”に該当する学級は現在のところはない。
- ② ①女性と子供、市民の健康を守ることを最優先し、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種の全額公費負担を決断した。
②広報やHPでの周知に加え、12月11日、12日の追加検診を実施。
③健康教室の開催を計画している。

五十嵐 勝蔵

[真誠会]



- 駅南、下成田地区の都市基盤の整備について
- 岳下小学校の通学路の整備について

問

- ① ①今後の駅南・下成田地区の都市基盤の推進について

②まちづくり協議会の基本構想は、市の事業推進計画にどう位置づけされているのか。
- ② 市道大壇4号線の拡幅改良整備促進について

答

- ① ①都市計画道路向原上竹線の整備を最重要事業として進め、全線の早期完成を目指し、地域発展の基盤づくりを進めたい。
②地域全体の整備計画をとりまとめ、必要な事業については、市の長期総合計画の中で検討していきたい。
- ② 住居等家屋があり、拡幅整備は現段階では困難な状況にあり、当面、現在の道路敷地内で蓋付側溝改修等を行い、拡幅を検討し、改善を図っていきたい。

中田 涼介

[真誠会]



- 市の財政状況について
- 地域主権改革に対する市長の認識について

問

- ① ①「地方公共団体財政健全化法」に伴う昨年度の「実質公債比率」の状況について
②昨年度末市債高の借入先比率と繰上償還状況について
- ② 地域主権改革の内容が国において、ともすれば後回しがちの中、特に、ひも付き補助金を廃止するとしている一括交付金に対する市長の認識について聞きたい。

答

- ① ①昨年度末の実質公債比率は19%になったが、本年度決算では18%を下回る見込みである。
②政府系資金が77%、縁故債が23%。金利5%以上の借入を中心に一昨年度から約20億円の償還を実施してきた。
- ② 一括交付金は、自治体のみならず、国のあり方も変える大きな制度改革であり、自治体にとって、これまでの国によるお任せせから、自己決定、自己責任が求められると認識している。

佐藤 源市

[あぶくま会]



- 企業誘致の実態と工業団地造成事業の進捗について
- 観光推進について

問

- ① ①企業誘致の実態と今後の推進について
②工業団地適正調査結果と次年度取り組みについて
- ② ①日本一桜の郷二本松推進事業について
②観光立市推進事業の次年度取り組みについて



(中島の地蔵桜)

答

- ① ①新たに安達地方企業立地協議会を結成し最先端ITエレクトロニクス総合展示会にブース出展した。
②適地面積30～50haとし概略設計調査の検討を行い、次年度は開発に伴う関係機関との打合せを行い具体化に向け準備を進める。
- ② ①近年は「桜」観光に人気が沸騰しており1万本しだれ桜等植栽及び古木の保存整備を進める。
②着地型観光の企画(霞ヶ城公園もみじ祭や東和布沢フラワーロード整備事業へ取り組む。)

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- 市民生活と生活保護行政について
- 社会保険二本松病院存続について

問

- ① ①厳しい市民生活実態の市の認識は。
②生活保護制度の利用制限の動きについて本市の状況は。
- ② 全国の社会保険52病院、厚生年金10病院等をグループとして存続させ、そのネットワークを活かし安定した経営、医療、研修体制を目指すべきと考えるが、市長の見解は。

答

- ① ①本市の市民税等は軒並み前年度対比で落ち込み、生活相談件数等が増加し、市民にとっては厳しい生活を強いられている。
②国から「保護の申請権を侵害しないよう、また侵害と疑われるような行為も厳に慎むべし」旨の通知があり、遵守しておりご指摘の件はありません。
- ② 一日も早く公的病院として存続できる受け皿づくりが第一と考えており、今後も国・県・国会議員等に強く働きかけていく。

齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]



- 農業振興とTPP（環太平洋連携協定）について
- 街づくり対策について

問

- ① ①例外なき関税撤廃による、市内農畜産物生産への影響は
②道の駅安達、こらんしょ市、ベイシアの産直売り上げは。
- ② ①あらたな下水道認可区域の設定と安達駅周辺整備事業での上下水道の整備について
②大玉村で住宅開発に対する優遇措置がある。人口増加対策として二本松でも実施すべきでは。

答

- ① ①稲作など32億円の減収、雇用1615人減、耕作放棄地が2845ha増えると試算される。
②平成21年度1億7300万円、1億1700万円、4500万円となっている。
- ② ①安達駅周辺の農地は良好な宅地化が見込まれることから、新たな配水管の布設および下水道区域の追加見直しを検討する。
②市としてどこまで支援が可能か、財政措置はどうすべきかなど市内で詳細に検討していく。

本多 勝実

[市政刷新会議「創松未来」]



- 市内小中学校再編について
- 市職員採用試験について

問

- ① 今後の学校再編計画はあるのか
② 学校教育における部活動の位置づけはどのようなものか、今後の部活動についての考えは。
- ② 職員採用試験の現状と試験方法について、又、学歴による試験区分が無いのはなぜか。

答

- ① ① 長期的には検討が必要と考えるが、地域の実情もあり今すぐという段階ではない。
② 学校教育の中でも人格形成に果たす役割は大きく意義がある。より望ましい部活動のあり方を考えていきたい。
- ② 一次試験は多肢選択式教養試験、二次試験は、適性検査、表現力について作文試験、個別面接による口述試験の三つの試験を行っている。真に優秀な職員採用のため学歴区分は無い。

新野 洋

[市政刷新会議「創松未来」]



- 広域高速交通網の整備に対応した観光振興について
- YouTubeを利用したタイムリーな情報発信について

問

- ① 東北新幹線が青森まで開通した。そして北関東自動車道の全線開通により、関越、北陸、磐越、常磐、東北道を結ぶ5県周遊ルートが完成する。二本松市がただの通過点にならないように滞在・回遊型観光、広域連携等を含め積極的な取り組みが必要ではないか。
- ② 市内各観光スポットのタイムリーな動画をYouTubeにアップしてくれる、観光支援ボランティアを募集し委託する考えはないか。市のHPにも有効に使えると思うが。

答

- ① 福島県全市町村と関係団体で組織する「うつくしま観光プロモーション推進機構」と中通市町村と関係団体で組織する「うつくしま奥の細道観光キャンペーン推進会議」で事業の取り組みに向けた実施計画を策定中である。市町村が実施すべき役割等についても今後計画される。
- ② 有効な方法であり可能であると考えられるが、募集方法、撮影にかかる地域割り、当番制など調整する課題があり、今後協議研究していく。

みなさんからの請願

【採択となった請願】

- ◎ 「TPP交渉参加反対」に関する請願書
- ◎ TPPの参加に反対する請願

【一部採択となった請願】

- ◎ 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する請願書
- ◎ 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願書

【不採択となった請願】

- ◎ 患者の窓口負担大幅軽減を求める請願書
- ◎ 危険なプルサーマル発電の中止を求める請願

可決された意見書

- ☆ TPP交渉参加反対に関する意見書
(内閣総理大臣・外務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣)
- ☆ 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書
(内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長)
- ☆ 肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書
(福島県知事)
- ☆ 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書
(内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣)
- ☆ 福島地方務局二本松出張所の廃止統合計画に反対する意見書
(内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣)